

令和 6 年度

決 算 報 告 書

静岡県田方郡函南町

令和 6 年度函南町一般会計、各特別会計の決算の概要について次のとおり報告いたします。

なお、詳細については、別添の令和 6 年度主要な施策の成果と予算執行状況報告書によります。

令和 7 年 9 月 18 日

函南町長 仁科 喜世志

令和6年度函南町一般会計歳入歳出決算について

決算の概要

(1) 嶸 入

令和6年度の歳入総額は、前年度と比較して、1,288,323,373円（9.1%）増の15,478,363,158円となりました。

予算額に対する収入率は、前年度と比較して1.7ポイント増の100.4%となりました。

歳入の根幹となる町税は、前年度と比較して収納率が同率の94.7%となり、収入済額は0.8%減の5,184,304,660円となりました。

自主財源は、使用料及び手数料、寄附金、諸収入が増額したものの、町税、財産収入、繰越金等の減額により、前年度と比較して2.9%減の7,216,509,906円となり、歳入に占める割合は、5.8ポイント減の46.6%となりました。

依存財源は、ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策特別交付金が減額したものの、地方特例交付金、地方交付税、国庫支出金、町債等の増額により、前年度と比較して22.3%増の8,261,853,252円となり、歳入に占める割合は、5.8ポイント増の53.4%となりました。

(2) 嶌 出

令和6年度の歳出総額は、前年度と比較して、1,220,004,607円（8.9%）増の14,856,036,412円となりました。

増額の主な要因として、定額減税補足給付金給付事務事業の皆増、西小学校長寿命化改修工事の皆増等により、歳出総額が増額となりました。

予算額に対する執行率は、前年度と比較して1.6ポイント増の96.4%となりました。

令和6年度は、第六次函南町総合計画の後期基本計画の3年目にあたり、物価高騰をはじめとする財政運営上の課題の長期化・恒常化等により、依然として先行きを見通すことが困難な状況が続く中、町の将来都市像である「環境・健康・交流都市函南」の実現に向け、基本理念に定める6つの柱「環境・防災」、「社会基盤」、「健康・福祉」、「教育」、「産業」、「交流・にぎわい」の各分野において様々な施策を展開し、町民の皆様とともに明るい未来に向けて歩んでいけるまちづくりに取り組んでまいりましたので、主要施策と併せて報告いたします。

まず、「快適に安心して暮らせる環境づくり」に向けた主な取組みとして

「エネルギーの有効活用」では、役場庁舎、湯～トピアかんなみ、農村環境改善センターの照明LED化工事等により、公共施設の省エネルギー化を推進するとともに、エネルギー消費性能の優れた家電製品を購入又は照明をLED化する方や事業者に対し、補助金を交付することにより、脱炭素化の取組みを推進しました。

また、「治山・治水対策の推進」では、蛇ヶ橋ポンプ場の施設能力の確保と費用面の節減のための詳細な耐震診断を行うとともに、施設全体の中長期的な点検・調査及び修繕改築のため、ストックマネジメント計画を策定し、施設の延命化に取組みました。

さらに、「消防・救急体制の充実」では、耐震強度が不足する消防団第1分団詰所の建替えを行うとともに、消防水利が不足している地域に耐震性防火水槽を新たに設置し、災害発生時の活動に対する環境の改善と消防力の強化を図りました。

次に、「コンパクトで効率的な都市づくり」に向けた主な取組みとして

「道路交通網の整備」では、町道の改良工事、舗装工事及び橋梁等の補修工事を行い、利便性や歩行者の安全性を確保するとともに、橋梁等の点検業務及び道路パトロール業務により、町道の適切な維持管理に努めました。

また、「地域公共交通網の形成」では、持続可能な公共交通網の確保・維持のため、市街地南部における拠点循環コミュニティバスや大場駅と函南駅の地域の交流拠点間を結ぶデマンドタクシーの実証運行を実施し、町の公共交通ネットワーク構築の充実に努めました。

さらに、「住宅環境の整備」では、空家対策として空き家バンクの運用を開始とともに、空き家バンク制度周知用チラシを作成し、情報発信を併せて行うことで空家の利活用促進を図りました。

次に、「誰もが生き生きと暮らせる健康づくり」に向けた主な取組みとして

「保健予防活動の充実」では、帯状疱疹ワクチンの任意接種助成制度等を開始し、希望者が接種しやすい体制を構築し、接種勧奨を適切に行うことで、疾病の発生及び蔓延予防に努めました。

また、「母子保健事業の充実」では、妊娠期から子育て期まで伴走型の相談支援を充実させるとともに、妊娠・出産後に応援金を交付し、経済的支援を一体として実施しました。

さらに、「地域福祉の推進」では、県下において先駆けて実施している重層的支援体制整備事業により、従来の支援体制では対応が困難であった地域住民が抱える複雑化・複合化した課題に対応することができる包括的な相談支援を実施しました。

次に、「生涯にわたる学びを支える教育・文化づくり」に向けた主な取り組みとして「幼児教育の充実」では、幼児教育センターを運営し、質の高い幼児教育の提供、保幼小中の連携を図りました。

また、「教育環境の整備」では、西小学校校舎の延命化を目的として長寿命化改修工事を実施するとともに、学習環境の多様化に対応できるよう施設内の改修を行い、教育環境の改善に努めました。

次に、「活力とゆとりを生み出す産業づくり」に向けた主な取組みとして「農林業基盤の整備」では、適正な農地保全、農作物の品質向上、環境保全型農業等に対する助成を継続し、農業の活性化に努めるとともに、新田排水機場に非常用発電設備を設置し、停電時においてもポンプの稼働を可能にすることができました。

また、「商業振興」では、函南ブランド認定品を紹介するパンフレット等により町の特産品の認知度向上に努めたほか、町職員で構成されるふるさと納税推進のための庁内プロジェクトチームによる、ふるさと納税返礼品事業者の発掘や返礼品の充実により寄附申込件数及び寄附額の増加に繋げることができました。

次に、「魅力とにぎわいのある交流づくり」に向けた主な取り組みとして「情報化の推進」では、期間満了を迎えた社会教育施設の施設予約システムについて、利用者がより使いやすいシステムの構築を行い、利便性の向上、施設予約の円滑な運営、管理を推進したほか、令和7年度までの対応完了を義務づけられている自治体システムの標準化・共通化について、ガバメントクラウド環境を構築するための調査や設計業務を実施し、円滑な移行に向けた環境整備に努めました。

また、「移住・定住の促進」では、静岡県へ就業し、函南町へ移住した方に対する補助金の支給を行い、定住のサポート体制を構築し、移住・定住の促進に努めました。

さらに、「効果的・効率的な行財政運営の推進」では、庁舎竣工から19年が経過し、老朽化した設備について、公共施設総合管理計画に基づき、予防保全型の更新・改修を実施

し、施設の安全性や機能の確保に努めました。

次に、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業として、住民税均等割のみ課税世帯、令和6年度新たに住民税非課税となる世帯や新たに住民税均等割のみ課税となる世帯への各給付金及び子育て世帯への加算、定額減税しきれないと見込まれる所得水準の方への給付金、町内の自治会が管理する公民館や街灯の照明をLED化するための補助金、公共施設の照明LED化工事を実施し、物価高騰に直面する生活者及び事業者への支援に取り組みました。

この他の各費目別の事業については、主要な施策の成果と予算執行状況報告書に記載したとおりであります。

次に、主な目的別経費の決算状況は、前年度と比較して教育費が 59.3%増の 2,465,161千円となり、商工費が 25.4%減の 257,649千円となりました。構成比では、前年度と比較して民生費が 2ポイント減の 35.9%で全体に占める割合が最も多く、次いで、総務費が 0.8ポイント増の 15.3%、教育費が 5.6ポイント増の 17.8%、衛生費が 2.8ポイント減の 8.1%の順となりました。

次に、主な性質別経費の決算状況のうち、経常的経費は前年度と比較して 4.5%増の 10,956,616千円、投資的経費は 117.0%増の 2,147,225千円となりました。構成比では前年度と比較して、経常的経費は 3.2ポイント減の 73.7%、投資的経費は 7.2ポイント増の 14.5%であり、その他経費は 4.0ポイント減の 11.8%となりました。

経常的経費のうち補助費等は、定額減税補足給付金給付事務事業の皆増等により、前年度と比較して 19.6%増の 2,042,130千円となりました。

人件費は、人事院勧告に伴う給与改定や会計年度任用職員の勤勉手当が支給開始されたこと等により、前年度と比較して 8.2%増の 2,464,492千円となりました。

物件費は、帯状疱疹ワクチンの予防接種開始に伴う予防接種委託料の増額等により、前年度と比較して 1.9%増の 2,456,639千円となりました。

投資的経費における普通建設事業費のうち補助事業は、西小学校長寿命化改修工事（補助分）の皆増等により、前年度と比較して 268.9%増の 638,605千円、単独事業は、西小学校長寿命化改修工事（単独分）の皆増等により、94.7%増の 1,456,380千円となりました。

その他経費のうち、積立金は、財政調整基金、特定目的基金への新規積立の減額により、50.5%減の 457,208千円となりました。

(3) 財政構造

令和6年度の歳入歳出差引額は、622,327千円となり、これから翌年度へ繰越すべき財源 9,382千円を差し引いた実質収支は、612,945千円となりました。

さらに、本年度の実質収支から前年度の実質収支 512,007千円を差し引いた単年度収支は 100,938千円の黒字、また、単年度収支に、財政調整基金への積立金 456,386千円を加え、同基金からの取崩額 567,000千円を差し引いた実質単年度収支は 9,676千円の赤字となりました。

経常収支比率は、歳出の人物費、物件費等の増額に加え、歳入の臨時財政対策債が減額したことにより、前年度と比較して 1.9ポイント増の 93.4%となりました。

令和6年度函南町土地取得特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和6年度函南町土地取得特別会計の決算額は、歳入歳出ともに前年度から 皆減の0円となりました。

予算額に対して、歳入の収入率、歳出の執行率ともに 0%となりました。

令和6年度函南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和6年度函南町国民健康保険特別会計の決算額は、歳入が前年度比 8.2%減の 3,826,392,574円、歳出が前年度比 8.2%減の 3,793,076,596円となり、歳入歳出差引額は33,315,978円となりました。

予算額に対して、歳入は収入率 97.6%で 94,859,426円の減額となり、歳出は執行率 96.7%で 128,175,404円の不用額となりました。

歳入のうち、国民健康保険税は前年度比 7.6%減の 759,672,765円となり、県支出金は前年度比 7.3%減の 2,704,752,948円となりました。また歳出のうち、保険給付費は前年度比 7.4%減の 2,644,796,597円となりました。

令和6年度函南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和6年度函南町後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入が前年度比 18.8%増の 671,298,639円、歳出が前年度比 18.7%増の 669,229,839円となり、歳入歳出差引額は 2,068,800円となりました。

予算額に対して、歳入は収入率 99.9%で 382,361円の減額となり、歳出は執行率 99.6%で 2,451,161円の不用額となりました。

歳入のうち、後期高齢者医療保険料は前年度比 19.2%増の 553,758,700円となりました。また歳出のうち、静岡県後期高齢者医療広域連合への納付金は前年度比 18.7%増の 668,727,739円となりました。

令和6年度函南町介護保険特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和6年度函南町介護保険特別会計の決算額は、歳入が前年度比 1.7%増の 3,423,406,330円、歳出が前年度比 1.2%増の 3,329,298,962円となり、歳入歳出差引額は、94,107,368円となりました。

予算額に対して、歳入は収入率 99.1%で 32,639,670円の減額となり、歳出は執行率 96.3%で 126,747,038円の不用額となりました。

歳入のうち、介護保険料は前年度比 6.5%増の 765,507,057円となりました。また歳出のうち保険給付費は前年度比 2.9%増の 3,051,666,100円となりました。

令和6年度函南町平井財産区特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和6年度函南町平井財産区特別会計の決算額は、歳入歳出とともに前年度比 0.6%減の 1,151,270円となりました。

予算額に対して、歳入は 3,730円の減額、歳出は 3,730円の不用額で、収入率・執行率ともに 99.7%となりました。

歳入のうち、基金繰入金は前年度比 0.2%減の 1,104,200円となりました。また歳出のうち、一般会計への繰出金は前年度と同額の 1,000,000円となりました。

令和6年度函南町上沢財産区特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和6年度函南町上沢財産区特別会計の決算額は、歳入歳出とともに前年度比 0.5%減の 189円となりました。

予算額に対して、歳入は 811円の減額、歳出は 811円の不用額で、収入率・執行率ともに 18.9%となりました。

歳入は、財産運用収入が前年度比 0.5%減の 189円、歳出は、基金積立金が前年度比 0.5%減の 189円となりました。

令和6年度函南町下水道事業特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 964,207,484円 支出 970,600,692円 差引 △6,393,208円

資本的収入及び支出

収入 359,815,000円 支出 676,641,115円 差引 △316,826,115円

決算の概要

令和6年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 6.4%増の 908,763,607円、総費用は、前年度比 5.0%増の 937,492,573円で、当年度純損失 28,728,966円となりました。

収益では、下水道使用料が 303,742,192円で総収益の 33.4%、一般会計繰入金である他会計負担金は 355,065,000円で 39.1%、その他の収益が 249,956,415円で 27.5%の構成となりました。

費用では、流域下水道費が 233,584,546円で総費用の 24.9%、総係費が 75,593,670円で 8.1%、減価償却費が 499,756,673円で 53.3%、支払利息及び企業債取扱諸費が 47,936,913円で 5.1%、その他の費用が 80,620,771円で 8.6%の構成となりました。

資本的支出は、未普及対策、防災安全事業の実施及び企業債元金償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額 316,826,115円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和6年度函南町農業集落排水事業特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 11,862,757円 支出 10,924,794円 差引 937,963円

資本的収入及び支出

収入 2,000,000円 支出 3,711,258円 差引 △1,711,258円

決算の概要

令和6年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 10.7%減の 11,751,436円、総費用は、前年度比 18.5%減の 10,813,473円で、当年度純利益 937,963円となりました。

収益では、農業集落排水使用料が 1,114,200円で総収益の 9.5%、一般会計繰入金である他会計負担金は 5,176,000円で 44.0%、その他の収益が 5,461,236円で 46.5%の構成となりました。

費用では、ポンプ場費が 2,759,818円で総費用の 25.5%、減価償却費が 7,327,673円で 67.8%、支払利息及び企業債取扱諸費が 236,519円で 2.2%、その他の費用が 489,463円で 4.5%の構成となりました。

資本的支出は企業債償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額 1,711,258円は、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和6年度函南町上水道事業特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 612,366,999円 支出 593,235,255円 差引 19,131,744円

資本的収入及び支出

収入 409,200,000円 支出 612,502,547円 差引 △203,302,547円

決算の概要

令和6年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 0.3%減の 532,681,310円、総費用は、前年度比 16.8%増の 566,625,166円で、当年度純損失 33,943,856円となりました。

収益では、給水収益が 462,489,390円で総収益の 86.8%を占め、水道加入金が 7,472,746円で 1.4%、その他の収益が 62,719,174円で 11.8%の構成となりました。

費用では、原水浄水及び配水給水費が 218,289,947円で総費用の 38.5%、減価償却費及び資産減耗費が 208,252,317円で 36.8%、支払利息及び企業債取扱諸費が 16,413,327円で 2.9%、その他の費用が 123,669,575円で 21.8%の構成となりました。

資本的支出は、老朽管布設替工事、各浄水場施設整備に係るもので、資本的収入に対して不足する額 203,302,547円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和6年度函南町畠、丹那簡易水道特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 6,891,792円 支出 3,386,501円 差引 3,505,291円

資本的収入及び支出

収入 0円 支出 636,183円 差引 △636,183円

決算の概要

令和6年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 9.7%減の 6,365,362円、総費用は、前年度比 10.3%減の 2,870,276円で、当年度純利益 3,495,086円となりました。

収益では、給水収益が 5,268,390円で総収益の 82.8%を占め、その他の収益が 1,096,972円で 17.2%の構成となりました。

費用では、原水浄水及び配水給水費が 1,186,371円で総費用の 41.3%、減価償却費が 1,195,807円で 41.7%、その他の費用が 488,098円で 17.0%の構成となりました。

資本的支出は、企業債償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額 636,183円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和6年度函南町田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

| | | | | | |
|----|-------------|----|-------------|----|----------|
| 収入 | 20,940,624円 | 支出 | 20,413,811円 | 差引 | 526,813円 |
|----|-------------|----|-------------|----|----------|

資本的収入及び支出

| | | | | | |
|----|------------|----|------------|----|-----------|
| 収入 | 1,000,000円 | 支出 | 1,910,162円 | 差引 | △910,162円 |
|----|------------|----|------------|----|-----------|

決算の概要

令和6年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 1.4%増の 19,943,619円、総費用は、前年度比 4.1%減の 19,519,551円で、当年度純利益 424,068円となりました。

収益では、給水収益が 8,799,565円で総収益の 44.1%を占め、その他の収益が 11,144,054円で 55.9%の構成となりました。

費用では、原水浄水及び配水給水費が 7,558,252円で総費用の 38.7%、減価償却費が 11,480,019円で 58.8%、その他の費用が 481,280円で 2.5%の構成となりました。

資本的支出は、浄水場施設整備及び企業債償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額 910,162円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和6年度函南町東部簡易水道特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

| | | | | | |
|----|--------------|----|--------------|----|-------------|
| 収入 | 128,129,606円 | 支出 | 130,514,521円 | 差引 | △2,384,915円 |
|----|--------------|----|--------------|----|-------------|

資本的収入及び支出

| | | | | | |
|----|-------------|----|-------------|----|-------------|
| 収入 | 38,500,000円 | 支出 | 42,652,521円 | 差引 | △4,152,521円 |
|----|-------------|----|-------------|----|-------------|

決算の概要

令和6年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 0.8%増の 114,452,960円、総費用は、前年度比 2.7%増の 120,621,792円で、当年度純損失 6,168,832円となりました。

収益では、給水収益が 98,083,072円で総収益の 85.7%を占め、その他の収益が 16,369,888円で 14.3%の構成となりました。

費用では、原水浄水及び配水給水費が 91,752,777円で総費用の 76.1%、減価償却費が 21,007,816円で 17.4%、その他の費用が 7,861,199円で 6.5%の構成となりました。

資本的支出は、ポンプ場施設整備及び企業債償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額 4,152,521円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。